



## 平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年6月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ヤマザワ

コード番号 9993 URL http://yamazawa.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 板垣 宮雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 佐藤 慎三 TEL 023-631-2211

四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績（平成25年3月1日～平成25年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	24,703	—	337	—	339	—	△59	—
25年2月期第1四半期	24,573	4.0	402	△67.0	415	△66.2	199	△71.7

- (注) 1. 包括利益 26年2月期第1四半期 △54百万円 (—%) 25年2月期第1四半期 179百万円 (△74.1%)  
 2. 平成25年2月期より決算期を変更しております。これに伴い、平成26年2月期第1四半期と、比較対象となる平成25年第1四半期の月度が異なるため、平成26年2月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	△5.48	—
25年2月期第1四半期	18.34	18.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第1四半期	48,459	27,844	57.4
25年2月期	46,967	28,078	59.7

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 27,828百万円 25年2月期 28,062百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	16.50	—	16.50	33.00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	16.50	—	16.50	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年2月期の連結業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	50,700	—	1,130	—	1,130	—	610	—	56.06
通期	102,000	—	2,200	—	2,200	—	1,100	—	101.08

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2. 平成25年2月期は、決算期変更により11ヶ月決算となっておりますので、平成26年2月期の連結業績予想の第2四半期(累計)及び通期の対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期1Q	10,960,825株	25年2月期	10,960,825株
② 期末自己株式数	26年2月期1Q	78,828株	25年2月期	78,768株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期1Q	10,882,030株	25年2月期1Q	10,882,201株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年末の新政権発足以降、経済政策への期待感から円高の修正、株価の回復が進み、景況感は明るい兆しとなってきておりますが、企業業績や個人所得の増加といった実体経済への影響は明確になっておらず、先行きに関しては依然として不透明な状況が続きました。

小売業界におきましても、引き続きお客様の低価格志向・節約志向による価格競争の激化、競合各社の新規出店、更に原材料の高騰や光熱費の上昇が懸念されるなど、業界を取り巻く環境は非常に厳しいものとなりました。

このような環境の中、当社グループにおきましては「地域のお客様に繰り返しご来店していただける店づくり」に向け、『現場第一主義』『優先順位を明確に』を本年度のスローガンに掲げ、全社一丸となって各施策の実行及び検証を行なっておりまいました。

当第1四半期連結累計期間における設備投資といたしまして、スーパーマーケット事業におきましては、平成25年5月に鶴岡宝田店（山形県鶴岡市）の改装を実施いたしました。また、ドラッグストア事業におきましては、平成25年3月に山形県山形市にドラッグ山形済生病院前店を開店いたしました。

なお、店舗の老朽化に伴い、平成25年3月に山形県東根市のドラッグ東根店を、平成25年5月に山形県山形市のあかねヶ丘店及びドラッグあかねヶ丘店を閉店いたしております。これにより、スーパーマーケット事業は山形県内42店舗、宮城県内22店舗の合計64店舗となりました。

販売面におきましては、お客様の低価格への要望が続く中、スーパーマーケット事業におきましては、引き続き恒例の「生活応援セール」や「水曜均一祭」の強化を行なっておりまいました。「水曜均一祭」は、98円均一を中心にお買い得商品を多数そろえ、好評を得ている企画となっております。更に、毎日午後2回のタイムサービスを全店舗で実施いたしました。野菜や日配品を中心に数量を限定し、通常より価格を大幅に下げて販売しております。

また、当社が加盟するニチリウグループ（日本流通産業株式会社）のプライベートブランド商品である「くらしモア」や、連結子会社の株式会社サンコー食品による当社オリジナルの惣菜・日配商品の拡販を積極的に行なっておりまいました。

商品面におきましては、「地産地消」の更なる推進のため、特に青果部門において地元生産者グループとの意見交換会を定期的に開催するとともに、安全・安心な地元農産物を安定的に仕入、販売できるよう取り組んでまいりました。地域貢献活動といたしましては、各取引先の協力のもと、地域の子どもたちとの果物や野菜の収穫体験などを継続的に開催し、食育活動を行なっておりまいました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は247億3百万円、営業利益は3億37百万円、経常利益は3億39百万円となりました。四半期純利益におきましては、減損損失の計上等により△59百万円となりました。

なお、当社は平成25年2月期より決算期を変更しております。これに伴い、当第1四半期連結累計期間と、比較対象となる前第1四半期連結累計期間の月度が異なるため、当第1四半期連結累計期間の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は484億59百万円となり、前連結会計年度末と比較して14億91百万円の増加となりました。

資産の部においては、減価償却等による建物及び構築物の減少等となりましたが、今後の出店のための土地の取得による増加や、商品及び製品の増加、現金及び預金の増加等となりました。

負債の部においては、設備資金の支払のため短期借入金が増加、また、商品及び製品の増加に伴う買掛金の増加や決算期の変更による賞与引当金の増加等となりました。

なお、純資産は278億44百万円となり、自己資本比率は57.4%となっております。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の業績予想につきましては、平成25年4月12日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,995,924	4,523,748
受取手形及び売掛金	579,557	614,576
商品及び製品	3,973,743	4,196,272
仕掛品	1,357	1,217
原材料及び貯蔵品	87,170	93,367
その他	1,681,839	1,668,128
流動資産合計	10,319,592	11,097,309
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,383,620	13,205,965
土地	16,218,115	16,975,421
その他(純額)	2,312,618	2,439,033
有形固定資産合計	31,914,354	32,620,420
無形固定資産	1,468,136	1,425,681
投資その他の資産	3,265,816	3,315,856
固定資産合計	36,648,307	37,361,958
資産合計	46,967,899	48,459,267
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,897,761	6,746,156
短期借入金	4,450,000	4,950,000
未払法人税等	16,106	298,997
賞与引当金	326,400	652,200
役員賞与引当金	19,100	7,830
ポイント引当金	511,850	510,605
商品券回収損失引当金	71,156	71,156
資産除去債務	50,493	46,062
その他	4,005,142	3,861,646
流動負債合計	15,348,010	17,144,654
固定負債		
退職給付引当金	492,109	500,531
資産除去債務	788,482	797,129
その他	2,260,765	2,172,374
固定負債合計	3,541,357	3,470,036
負債合計	18,889,367	20,614,690

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,388,717	2,388,717
資本剰余金	2,205,192	2,205,192
利益剰余金	23,559,079	23,319,864
自己株式	△89,805	△89,896
株主資本合計	28,063,184	27,823,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△283	5,067
その他の包括利益累計額合計	△283	5,067
新株予約権	15,631	15,631
純資産合計	28,078,531	27,844,576
負債純資産合計	46,967,899	48,459,267

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	24,573,558	24,703,789
売上原価	17,860,646	17,953,610
売上総利益	6,712,911	6,750,179
販売費及び一般管理費		
給料	2,314,293	2,386,071
賞与引当金繰入額	106,414	317,900
役員賞与引当金繰入額	6,960	7,830
退職給付費用	26,908	26,510
ポイント引当金繰入額	486,885	510,605
減価償却費	447,923	502,194
その他	2,921,301	2,661,194
販売費及び一般管理費合計	6,310,686	6,412,307
営業利益	402,225	337,872
営業外収益		
受取利息	1,447	1,286
受取配当金	6,508	4,000
祝金受取額	5,082	—
その他	6,677	7,656
営業外収益合計	19,715	12,943
営業外費用		
支払利息	2,561	6,375
その他	3,697	4,936
営業外費用合計	6,258	11,312
経常利益	415,681	339,503
特別利益		
固定資産売却益	—	1,463
保険料返還収入	—	15,418
特別利益合計	—	16,881
特別損失		
固定資産売却損	—	11,606
固定資産除却損	4,710	32,720
減損損失	42,425	249,797
特別損失合計	47,135	294,124
税金等調整前四半期純利益	368,545	62,260
法人税、住民税及び事業税	26,183	284,847
法人税等調整額	142,827	△162,925
法人税等合計	169,010	121,921
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	199,535	△59,661
四半期純利益又は四半期純損失(△)	199,535	△59,661

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	199,535	△59,661
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,839	5,350
その他の包括利益合計	△19,839	5,350
四半期包括利益	179,695	△54,310
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	179,695	△54,310
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。